

**I 題材名 「ここは、すてきランド」****II 考察**

## ○ 児童の実態 (3 年 1 組 男子 18 名 女子 13 名 計 31 名)

本学級 (3 年生) の児童の多くは、図画工作科の授業が好きである。しかし、絵を描いたりものをつくったりする授業のほとんどが教室内であるため、時には、自然の中、校庭、屋上、公園、川原などの場所でも授業をやってみたいと願っている。また、ほとんどの児童が、自然の中にある、木切れや石などを見ておもしろいと思っているのに、その思いが広がらず、造形活動への意欲が高まらない。はじめは、意欲的に活動していても、思いが深まらずに途中で造形活動が停滞してしまうという児童の姿が見られる。造形活動の体験では、ものを組み合わせたり、材料を切つてつないだ経験はあるものの、どんな材料や道具を使い、何をつくったのか、答えられない児童が多く、必ずしも児童が作りたいものをつくってきたのではないことがうかがえる。鑑賞では、交流する活動を行い、友達の作品のよさ、工夫、努力していることなどにふれているが、それを生かして表現につなげるまでにいたっていない。これらのことをふまえ、場所の特徴をもとにした発想や表し方を交流する活動を取り入れて、よりよいものをつくりだそうと思いをめぐらし、自分らしい表現へとつなげていく創造的な想像力を伸ばしたいと考えた。

これまでの図画工作科における表現「造形遊び」の学習を振り返ってみると、一人で発想し創造していく活動に重点が置かれていて、互いの発想や表し方、その意図を伝え合い、交流し合うことで、自分らしいよりよいものをつくりだそうと思いをめぐらす創造的な想像力を伸ばす活動は少なかった。

そこで、「造形遊び」において、場所の特徴をもとにした発想や表し方について交流する活動を取り入れることで、児童の創造的な想像力を伸ばすことができると考え、本主題を設定した。

## ○ 題材の考察

一般的に児童は、材料などを使って表す造形活動に関心を持ち、次のような変化が見られるようになる。例えば、何かものを見た時にすぐ反応していた児童が、徐々に自分の考えを練りあげてから反応するようになる。また、周りの友達を気にせずに自分の思いを表現していた児童が、徐々に周りの表現を参考にしたり取り入れたりして自分の思いの表現を深く追究するようになる。生活の中では、グループで交流する活動を楽しむようになる。このように材料などを使って表す造形活動において、友達とかかわり合いながら、自分とは違った発想や表し方を知ったり、自分の思いを友達に伝えたりすることの意義は大きいと考える。

図画工作科においては、友達と交流しながらつくる楽しさを味わえる造形活動を考えた場合、「造形遊び」が当てはまると考えた。「造形遊び」は、小学校学習指導要領の内容 A 表現で示す「材料などをもとにした造形活動」のことである。特に、中学年では、場所の特徴から造形活動を思いついたり、みんなで発想したりして、新たなことを試みるなどの「造形遊び」が指導の要点としてあげられている。交流する活動を通して、児童は、いろいろな発想や表し方を知り、参考にしたり、取り入れたりすることができるだろうと考えた。そればかりか、自分ら

しいよりよいものをつくりだそうと思いをめぐらすことも可能となるであろうと考えた。また、児童は、自分の思いをふくらませ、造形活動の体験を深めることで、望ましい人間関係を形成できるだろうと考えた。

○ 題材の系統性

学習内容（学習主題）	3年生の題材	4年生の題材
材料や場所の活用 (材料や場所で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ざいりょうものがたり</li> <li>・ここにすわると</li> <li>・ここは、すてきランド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ようこそここへ</li> <li>・どこでつくろうかな</li> </ul>
行為の展開 (工夫しながら 手や道具を使って)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光のプレゼント</li> <li>・パラダイス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光のゲイジュツだ</li> <li>・動かしてみよう</li> </ul>

○ 指導方針

- ・材料を集めたり、用具類を使うにあたっては、事故防止等安全について、事前や、活動の進み具合に応じて配慮したり、活動の終わりに確認したり学習の展開の中で適切に行うようにする。自分がやってみたいことをするために、材料を探して集めたり、友達や先生に相談したりできるようにする。教師もできるだけ豊富な材料の中から選択できるように材料コーナーを設け準備するが、自分で集めることの大切さも知らせ、材料を集める活動にも積極的に取り組むように指示する。それぞれの自発的な活動を認めていくようにする。そのための期間も十分にとるようにする。
- ・発想する過程では、児童の大好きな場所である築山周辺に出向き、よく観察ができるようにする。そこで、一人一人に築山周辺の場所の特徴を考えさせる。どんな特徴があるか全体の考えをまとめ知らせるようにする。次に、築山周辺の特徴から自分の造形遊びを発想させ、絵や図に書いて構想をまとめさせておく。場所の特徴から考えた発想がまとめられた後、交流する場を設定し、自分と発想や表し方、活動場所が似ている友達がいることに気づかせたり、自分と違う考えを知らせたりする。ここでは、自分の造形活動の想像に変更を加えたり、追加したりするなど、製作意欲を高め、自分の発想や表し方に自信をもたせるようにしたい。さらにおもしろい発想を引き出せるような話し合いをしたい。
- ・製作する過程では、造形活動の途中で発表の場を設け、交流する。あらかじめ同じような発想や表し方を考えている者同士で小グループを編成しておく。はじめは、前時の学習カードをもとにそれぞれが持ち寄った材料を使って製作させる。次に、造形活動の途中で互いの作品を見合い、よいところや工夫するとよくなる所を学習カードに記録し話し合わせる。活動の途中で交流することを通して、自分の活動の参考にしたり、友達のよさに気づいたりすることができるようにする。できあがりの形にこだわらず、頑張りをはめるようにする。学習カードは交換し合う。作業が進まない児童には、教師と一緒に作業できるようにする。人まねで終わってしまう児童には、「ここを変えたらお友達と違ってくるよ。」などと助言する。つくっていくうちにつくりたいものが変わる児童には、新しい発想でつくってよいことを知らせる。
- ・児童にも、作品のできばえだけを評価したり、できあがりの作品を鑑賞するだけでなく、そこに至るまでの過程の中での工夫や思いを合わせて評価や鑑賞ができるように、交流し合う時間を十分にとるようにする。

Ⅲ 目 標(報告書参照)

IV 評価規準(報告書参照)

V 指導と評価の計画

の枠内が見通し  は評価方法

過 時 程 間	○ねらい ・主な学習活動	支援及び指導上の留意点	学習活動の具体的評価規準		
			関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能
発 想 す る	○活動場所について知り、どのような活動をするか考え発想し、自分の思いをもつ ・築山周辺のいいところ見つけをする。  ・活動場所を決め発想する。(個人) ・発想したことを学習カードに書く。	・場所の特徴(雰囲気、広がり、その場所にあるもの)をもとにした造形活動であることを話す。  ・校庭の築山周辺に行っているところ見つけをし、学習カードに記入する。意見交換をした後、築山周辺の特徴について学習カードにまとめておく。  ・学習カード(せいさく計画書)を用意し、築山周辺の特徴から発想したことや必要な材料、道具などを図や文で書けるようにする。	○場所の特徴に気づき、話合いに自分なりにかかわろうとしている。  <b>十分満足できる状況のキーワード</b> ・場所の特徴から発想 ・進んで	○場所、材料、道具などから思いつきやってみようことを考える。  <b>十分満足できる状況のキーワード</b> ・生かして ・具体的に ・たくさん	
	<b>【見通し1】</b> ・発表する。	・自分の発想を学習カードをもとに発表し、自分の試行の方向性を確かめることができるようにする。(発表の仕方は別の学習カードに示しておく。) ・発表者には、友達に相談したいことや友達からの質問や意見を聞くように助言する。 ・発表会を終えて、付け加えたり参考にしたりしたいところがあった児童には、学習カードに赤ペンで記入したり、付せん紙をはったりするように指示する。また、作品を変えたい児童には、新しい学習カード(せいさく計画書)を渡して書き直しをしてよいことを伝える。	<b>努力を要する児童への手だて</b> ・話合いに進んで参加できるように促し、友達の発想や表し方から参考になるものや自分と似ている発想や表し方をしようとする友達がいることを知らせ、意欲をもって次の活動に向かえるようにする。	<b>努力を要する児童への手だて</b> ・つくりたい場所や材料コーナーへ行き実際に材料を手にとって重ねたり、道具を操作することでやりたいことがはっきりするようにする。	
	・材料を集める(個人)	・材料コーナーを設置し、子供たちの多様な思いや試行に応えることができるようにする。	・話合いの様子 ・学習カードへの記述	・話合いの様子 ・学習カードへの記述	
	○場所から思いついた造形活動を展開し、自分の思いを友達と紹介し合うことでお互いの思いを共有したり、自分なりの感じ方や見方を深めたりする。 ・前時の学習カードをもとに造形活動をする	・前時にまとめた築山周辺の特徴と児童の活動場所を示した地図を移動黒板に掲示し見えるようにしておく。 ・前時の学習カードをもとに造形活動をするように指示する。 ・木に登ったり、岩の上に乗ったりする児童には、安全に気をつけて活動するように話す。段ボールカッターなど初めて使う用具は個別に指導して安全に気をつけるように配慮する。 ・材料、用具は子供たちが自	○材料や道具などを動かしたり、配置したりして楽しもうとする。  <b>十分満足できる状況のキーワード</b> ・体全体 ・活用して	○材料や用具を試し、場所の特徴に合わせて形づくりをしたり、新しい材料を加えたりして、自分なりにつくる。 <b>十分満足できる状況のキーワード</b> ・有効な使い方 ・つくり直す	

<p>る。(材料や用具を試し、場所の特徴を生かして造形活動をする。)</p>	<p>分の活動に応じて用意してあるが、選択して活用できるように材料コーナーを設け準備しておく。身近なところにも魅力的な材料があることも知らせるようにする。材料から使い方を考えて表してもいいことを告げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師は、築山周辺で、子供たちの活動の様子を見て回る。</li> <li>・材料や用具の扱いで行き詰まっている子供の相談にのる。</li> </ul>	<p><b>努力を要する児童への手だて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広い場所で体全体を使って表現している児童の様子を観察し参考にしていくことを助言する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作活動の様子</li> <li>・使用している材料</li> <li>・学習カードへの記述</li> </ul> </div>	<p><b>努力を要する児童への手だて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しがどうしても止まっている児童には、材料に触れながら話し合うようにし、時には教師と一緒に活動する。</li> </ul>	<p><b>努力を要する児童への手だて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄な材料の使い方をしていないか、用具が適切であるか確認する。また、材料の効果的な使い方についてアドバイスをする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・途中の造形作品</li> <li>・学習カードへの記述</li> </ul> </div>
<p><b>【見通し 2】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の作品を見る。(互いのよさや美しさが感じられるように作品を置いたり材料を組み合わせた場所で、互いの表現のよさや美しさを味わう。)</li> <li>・感じたことや思ったことを学習カードに書く。</li> <li>・集合し話し合う。</li> <li>・学習カードを交換し合う。(学習カードに書かれている感じたことや思ったことを読んで、その内容を整理し参考にできそうなものを選ぶ。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を設置する際には、児童の安全と場所にあるものの保身に十分配慮し、高いところにつけたり、杭を打つことが必要な時は指導者が一緒に活動するようにする。</li> <li>・造形活動の途中で鑑賞し、途中経過を紹介したり、感想を述べ合う相互評価の場を設定する。</li> <li>・自分が工夫したところや友達のよいところを学習カードに記録し話し合うことで、想像をふくらませ次の発想へ生かすことができるようにする。単なる感想だけでもよいがどこを見てそう思ったのか、根拠を明確にするように指示する。</li> <li>・子供の活動を認めたり賞賛したりする言葉かけをする。</li> <li>・発想や活動場所が似ている者同士のグループをつくり、まずグループ内で交流するように話すなど短時間で、できるだけ多くの友達と学習カードを交換し合えるように工夫する</li> <li>・発想が変わり、表現内容に変更があっても認めていくようにする。</li> </ul>	<p>○自分の思いや工夫を発表し、友達の場所や材料の生かし方などよさに気づく。</p> <p><b>十分満足できる状況のキーワード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで</li> <li>・相談する</li> </ul> <p><b>努力を要する児童への手だて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品のよいところや、工夫している点を、教師の意図的な指名により発表してもらい、自信をもって作品が仕上げられるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの様子</li> <li>・学習カードへの記述</li> </ul> </div>	<p>○お互いの表し方やその意図を伝え合う活動を通して見直したりつくり直したり、思いついたりする。</p> <p><b>十分満足できる状況のキーワード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなアイディア</li> <li>・活発に</li> </ul> <p><b>努力を要する児童への手だて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所や材料を見直したり、材料コーナーに行ったりして発想が発展できるようにする。</li> <li>・活動が思い通りに進まない児童には、材料の扱い方やしくみについて相談にのり、アドバイスをする。子供の思いに応じてやり直しも認めるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの様子</li> <li>・評価カードへの記述</li> </ul> </div>	<p>○話し合う活動を通して想像力をふくらませ、自分なりにつくる。</p> <p><b>十分満足できる状況のキーワード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい材料</li> <li>・加えたり試したり</li> </ul> <p><b>努力を要する児童への手だて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発想や表し方の似ている児童の取組みを参考にさせたり、工夫するところを友達からアドバイスしてもらったりして造形活動できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造形作品</li> <li>・学習カードへの記述</li> </ul> </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と情報交換しながらさらに工夫し仕上げる。</li> <li>・それぞれの作品をビデオに撮り後片づけをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて友達と協力して活動したり、活動場所を変えることも認めるようにする。</li> <li>・自分の活動のよさが感じられる設置の仕方ができるように十分時間をとる。</li> <li>・ごみはきちんと分別するように話し、子供たちと一緒に片づける。それぞれの作品をデジカメに撮っておくが児童の思いに応じて、しばらくの間、その場所を保</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の活動について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるようにする。</li> <li>・次時は、記録をもとに、色や形などの美しさ、おもしろさ、材料の効果的な生かし方などのよさを紹介し合うことを告げる</li> </ul>		
--	---	--	--	--

## VI 本時の学習

### 1 ねらい

築山周辺の場所から考えた造形活動を展開し、自分の思いを友達と紹介し合うことで、互いの思いを共有したり、自分なりの感じ方や見方を深めたりする。

### 2 準備

○児童 ビニールシート、自分で集めた材料、絵の具、必要な道具、せいさく計画書、探検バッグ、筆記用具

○教師 補助材料、両面テープ、ガムテープ、移動黒板、学習カード、デジカメ

### 3 場所

校庭築山周辺

### 4 展開

————— の枠内は見通し □ は評価方法

主な学習活動	支援及び指導上の留意点	時間分	学習活動の具体の評価規準		
			関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてを知る</li> <li>・前時の学習カードをもとに造形活動をする。(材料や用具を試し、場所の特徴をもとにして造形活動をする。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時にまとめた築山周辺の特徴と児童の活動場所を示した地図を移動黒板に掲示し見えるようにしておく。</li> <li>・前時の学習カードをもとに造形活動をするように指示する。</li> <li>・木に登ったり、岩の上ののったりする児童には、安全に気をつけて活動するように話す。段ボールカッターなど初めて使う用具は個別に指導して安全に気をつけるように配慮する。また、「木の幹を傷つけない工夫をしてね。」と提案する。</li> <li>・材料、用具は子供たちが自分の活動に応じて用意してあるが、選択して活用できるように材料コーナーを設け準備しておく。身近なところにも魅力的な材料があることも知らせるようにする。材料から使い方を考えて表してもいいことを告げる。</li> <li>・教師は、築山周辺で、子供たちの活動の様子を見て回る。</li> <li>・材料や用具の扱いで行き詰まっている子供の相談にのる。</li> </ul>	<p>10</p> <p>35</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料や道具などを動かしたり、配置したりして楽しもうとする。</li> </ul> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体全体</li> <li>・活用して</li> </ul> <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広い場所で体全体を使って表現している児童の様子を観察し参考にしていくことを助言する。「この材料でどんなことをやってみたいかな。」「どうやったらもっと君らしくできるかな。」「何に感動したんだっけ。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発想・構想の能力</li> </ul> <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しがどうしてももてずに、活動が止まっている児童には、材料に触れながら話し合うようにし、時には教師と一緒に活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料や用具を試し、場所の特徴にあわせて形づくりをしたり、新しい材料を加え、自分なりにつくる。</li> </ul> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有効な使い方</li> <li>・つくり直す</li> </ul> <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄な材料の使い方をしていないか、用具が適切であるか確認する。また、材料の効果的な使い方についてアドバイスをする。「他の材料を使ってもいいよ。」「並べ方を変えてもいいんだよ。」</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作活動の様子</li> <li>・使用している材料</li> <li>・学習カードへの記述</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・途中の造形作品</li> <li>・学習カードへの記述</li> </ul>

<p><b>【見通し2】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の作品を見る。(互いのよさや美しさが感じられるように作品を置いたり材料を組み合わせ合わせた場所で、互いの表現のよさや美しさを味わう。)</li> <li>・ 感じたことや思ったことを学習カードに書く。</li> <li>・ 集合し話し合う。</li> <li>・ 学習カードを交換し合う。(学習カードに書かれていると感じたことや思ったことを読んでその内容を整理し、参考にできるものを選ぶ。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品の設置の際には、児童の安全と場所にあるものの安全に十分配慮し、高いところにつけたり、杭を打つことが必要などときは指導者が一緒に活動するようにする。</li> <li>・ 造形活動の途中で鑑賞し、途中経過を紹介したり、感想を述べ合う相互評価の場を設定する。</li> <li>・ 自分が工夫したところや、友達のよいところを学習カードに記録し、話し合うことで、想像をふくらませ次の発想へ生かすことができるようにする。単なる感想だけでもよいが、どこを見てそう思ったのか、根拠を明確にするように指示する。</li> <li>・ 子供の活動を認めたり、賞賛したりする言葉かけをする。</li> <li>・ 発想や活動場所が似ている者同士のグループをつくり、まずグループ内で交流するように話すなど短時間で、できるだけ多くの友達と学習カードを交換し合えるように工夫する。</li> <li>・ 発想が変わり、表現内容に変更があっても認めていくようにする。</li> </ul>	<p>10</p> <p>10</p> <p>15</p> <p>40</p>	<p>○自分の思いや工夫を発表し、友達の場所や材料の生かし方などよさに気づく。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進んで</li> <li>・ 相談する</li> </ul> <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品のよいところや、工夫している点を、教師の意図的な指名により、発表してもらい、自信をもって作品が仕上げられるようにする。「そうか、そんなやり方もあったんだね。」「ここをつくっているときは、楽しかっただろうね。」</li> </ul>	<p>○互いの表し方やその意図を伝え合う活動を通して見直したりつくり直したり、思いついたりする。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たなアイデア</li> <li>・ 活発に</li> </ul> <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場所や材料を見直したり、材料コーナーに行ったりして発想が進展できるようにする。</li> <li>・ 活動が思い通りに進まない児童には、材料の扱い方やしくみについて相談にのり、アドバイスをする。子供の思いに応じてやり直しも認めるようにする。</li> </ul>	<p>○話し合う活動を通して想像力をふくらませ、自分なりにつくる。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい材料</li> <li>・ 加えたり試したり</li> </ul> <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発想や表し方の似ている児童の取組を参考にさせたり、工夫するところを友達からアドバイスしてもらったりして造形活動できるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達と情報交換しながらさらに工夫し仕上げる。</li> <li>・ それぞれの作品をデジカメ等に撮り後片づけをする。</li> <li>・ 次時の活動について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要に応じて友達と協力して活動したり、活動場所を変えることも認めるようにする。</li> <li>・ 自分の活動のよさが感じられる設置の仕方ができるように十分時間をとる。</li> <li>・ ごみはきちんと分別するように話し、子供たちと一緒に片づける。それぞれの作品をデジカメに撮っておくが児童の思いに応じて、しばらくの間、その場所を保てるようにする。</li> <li>・ 次時は、記録をもとに、色や形などの美しさ、おもしろさ、材料の効果的な生かし方などのよさを紹介し合うことを告げる。</li> </ul>	<p>15</p>	<p>・ 話し合いの様子</p> <p>・ 学習カードへの記述</p>	<p>・ 話し合いの様子</p> <p>・ 評価カードへの記述</p>	<p>・ 造形作品</p> <p>・ 学習カードへの記述</p>



## 図工：造形遊び『ここは、すてきランド』学習カード2

名前（ ）

### 一 築山周辺のいいところを見つけよう

#### 築山周辺のとくちょう

☆高さのちがう築山が3つある（しゃめん・坂道）

☆高くてながめがいい

☆大きな木（えだ）がたくさんある

☆緑が多い（色）

☆木かげがある（すずしい）

☆かれ葉やドングリなどが落ちている

☆小鳥の鳴き声がある

☆自然がいっぱい（花や草）

☆さわやかな風がふいている

☆虫がいる

☆トンネルがある

☆すべり台がある

☆丸太橋がある

☆かいだんがある

☆かたい土とやわらかい土

☆教室より広い

☆九小っ子の人気の遊び場である

☆かくれんぼができる

☆かくれががある

☆ロープがある

☆近くに遊具がある（てつぼう・登りぼう・サッカーゴールなど）

☆小石やじゃりが落ちている

H 15, 9, 18 調査



- ◎ 築山は、九小っ子の大好きな遊び場ですね。今度、図工の時間に、築山周辺で、造形遊びをします。3年1組のみんなで、ゆめの国『すてきランド』をつくりましょう。

まずはじめに、上の、築山周辺のとくちょうから何ができそうか、自分の造形遊びを考えてみましょう。「こんなものがあったら楽しいだろうなあ。」と、そうぞうをふくらませて、おくもの・たてるもの・かざるものなど、自由に考えてみてください。

よくわからない人は、先生のところへそうだんにきてくださいね。

- ◎ 考えが決まったら、「せいさく計画書」を書きます。できあがりの予想図を書きます。せいさくにひつような材料や場所、ひつようなわざについても考えておきましょう。自分でできることと先生に手伝ってもらうことがはっきりしているといいですね。

# せいさく計画書

名前 ( )

作品名

築山のとくちょう

できあがり予想図

ひつようなざいりょう

ひつようなわざ

◎自分でできる ●先生に手伝ってもらう

名前（ ）

☆発表の仕方

わたしは・・・、ぼくは・・・、

①場所を言う。(絵地図に名前のマグネットをはる。)

〇〇〇で・・・

②築山のとくちょうを言う。

〇〇〇のとくちょうから・・・

③作品名を言う。

〇〇〇をつくります。

④材料を言う。

おもな材料は〇〇〇と、〇〇〇と、〇〇〇・・・をつかいます。

⑤みんなに相談したいことを言う。

みんなに相談したいことは、〇〇〇です。

〃

ありません。

⑥何か、質問や意見はありませんか。

これで、わたしの(ぼくの)発表を終わりにします。

①あなたと考えや活動場所が似ている友達がありましたか？それはだれですか？

②楽しそうなせいさくを計画している友達がありましたか？それはだれですか？

③まねしてみたいと思った友達がありましたか？それはだれですか？

◎発表会が終わったら・・・

・発表会を終えて、へんこうしたりつけくわえたりしたいところがあったら、せいさく計画書に、赤で記入します。

・作品を変えたい場合は、新しいせいさく計画書を先生からもらって、いそいで書き直します。

・自分のせいさくが決まったら、材料を準備します。

材料を自分で用意できる場合は、材料名の左に◎、用意できない場合は●をつけておきます。

## 鑑賞カード

名前( )

◎作品をよくみる(理解する)力は、表現する力と同じくらい大切な力です。

○自分の作品は、自分が表したかったことが、表せているかよく調べてみましょう。工夫したことや根気強く頑張ったことなどを、書いてみましょう。

○友達の作品では、その人がどんな考えでつくったのかを、理解するようにして、よいところをたくさん見つけてみましょう。

### ★自分の作品 [ ] について

### ★友達から

(の り し ろ)

**すてき！！**

**すばらしい！！ 友達の作品のいいところをほめてあげましょう。**

◎こんな言葉がうれしいな！！

- ・色がきれい
- ・〇〇がじょうずにつかえたね
- ・順調に進んでいるね
- ・じょうぶだね
- ・完成おめでとう
- ・アイデアがいいね
- ・形がいいね
- ・すばらしいできばえだ
- ・ざいりょうがじょうずにつかえたね
- ・よく考えたね
- ・ていねいだね

----- き り と り -----

( )のすてきな造形

☆あなたの作品のいいところは・・・

★あなたの作品でもう少し工夫するとよくなるところは・・・

( )より

----- き り と り -----

( )のすてきな造形

☆あなたの作品のいいところは・・・

★あなたの作品でもう少し工夫するとよくなるところは・・・

( )より

## 図工：造形遊び『ここは、すてきランド』学習カード7

名前 ( )

(思ったことに○をつけてください。)

1. 今日のかつどうはどうでしたか。

- ①とても楽しかった ②楽しかった ③ふつう ④つまらなかった  
⑤とてもつまらなかった

2. 楽しかった人は、どんなことが楽しかったですか。(いくつ○をつけてもいいです。)

- ①そとでできたこと ②みんなでしたこと ③大きなものができたこと  
④好きにできたこと ⑤友達にほめられたこと ⑥先生にほめられたこと

— そのほかなんでも書いてください —

3. つまらなかった人は、どんなことがつまらなかったのですか。(いくつ○をつけてもいいです。)

- ①アイデアがうかばなかった ②友達とうまくいかなかった  
③思ったことがうまくつくれなかった ④ざいりょうがたりなかった

— そのほかなんでも書いてください —

4. どんな材料を用意しましたか。

— 書いてください —

5. 今日つけたざいりょう・ようぐをぜんぶ書いてください。

— 書いてください —

6. はじめに思いついたことは何ですか。

— 書いてください —

7. 今日はおもに、どんなことをしましたか。

— 書いてください —

8. もういちどやるとしたらどんなことをやってみたいですか。

— 書いてください —

9. 友達のかつどうで、きにいったものをしょうかいしてください。

— 書いてください —

10. 先生へのお手紙

— 書いてください —

### 資料3 造形活動の様子

雨上がりの校庭（平成 15 年 10 月 29 日水曜日）

「今日はここが教室です。」 ↓

『すてきランド』の材料コーナー ↓



九小っ子の大好きな築山周辺

・・・遊びの場所もこんな風に変身 ↓



『すてきランド』に、あったらいいなこんなもの  
ミステリーサークル ↓

休憩所 ↓

児童Aのせいさく風景  
音楽のなる家 ↓



ミニゴルフ場 ↓

ひとりぼっちのシカくん ↓

